

環境報告書 2024 年度版（案）の指標について

：資料 1 からの修正（速報値含む）

○資料 1（p4）

環境目標	指標	前回値 (2022 年度)	最新値 (2023 年度)	目標値 (2030 年度)	進捗※ 状況	市関連計画	
達成	☆環境まちづくり参加人数 (総人口比)	21.1%	22.4%	維持(16.9%)		-	
	☆青空教室、出前講座の参加人数 [延べ]	88,956 人	94,461 人	120,000 人		-	
	☆自然環境の保全を行う市民団体など の会員数 [延べ 単年度]	552 人	572 人	700 人 (2026 年度)		第六次総合計画	
	環境に配慮した事業所数 [延べ 単年度]	147 事業所	155 事業所	増加		-	
2 低炭素社会	達成	温室効果ガス総排出量 (2013 年度比)	-19.2% (2021 年度)	集計中 (2022 年度)	-46%		地球温暖化対策 実行計画
	達成	☆民生家庭部門 温室効果ガス排出 量 (2013 年度比)	-15.0% (2021 年度)	-19.5% (2022 年度)	-66%		地球温暖化対策 実行計画
	個別	☆各世帯の1か月当たりの平均の電気 使用量	280kWh	276kWh	245kWh		地球温暖化対策 実行計画
		市役所エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (公用車除く)	20,743t-CO ₂	22,255t-CO₂	15,863 t-CO ₂		市役所地球温暖 化対策行動指針
		☆災害への備えをしている家庭の割合	50.5% (2016 年度)	55.3% (2021 年度)	60.0% (2026 年度)		第六次総合計画
		☆熱中症の搬送人数	137 人	119 人	減少		-
雨水流出抑制施設 [累計]	56 施設	56 施設	56 施設		-		

○資料 1（p6）

個別指標	前回値	最新値	目標値	進捗状況	市関連計画
環境に配慮した事業所※数 [延べ 単年度]	147 事業所 (2022 年度)	155 事業所 (2023 年度)	増加 (2030 年度)		-

環境目標 2 低炭素社会



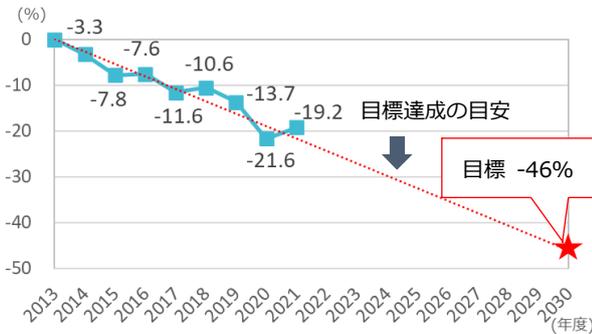
関連



省エネルギーの取組みが市民や事業者に定着した低炭素なまちをめざします。

指標の進捗状況

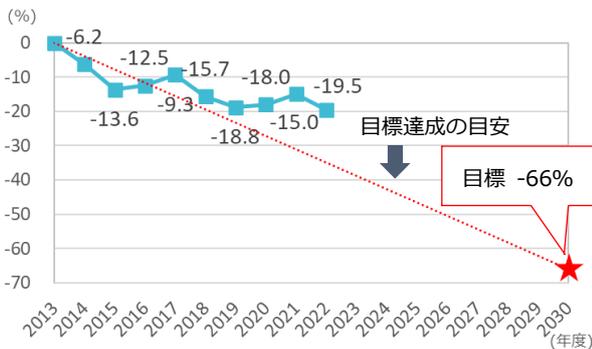
達成指標 温室効果ガス総排出量（2013年度比）



2022年度
集計中

2022年度 集計中

☆ 民生家庭部門 温室効果ガス排出量（2013年度比）



2022年度
-19.5%

民生家庭部門 温室効果ガス排出量（2013年度比）は目標達成に向けて改善傾向にありますが、さらなる努力が必要です。

個別指標

個別指標	前回値	最新値	目標値	進捗状況	市関連計画
市役所エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (公用車除く) ※	20,743t-CO ₂ (2022年度)	22,255t-CO ₂ (2023年度)	15,863t-CO ₂ (2030年度)		市役所地球温暖化 対策行動指針

※電気の排出係数は調整後の値を使用。また、市がJ-クレジット制度を活用しカーボンオフセットを実施した量を含む。

削減目標の進捗状況

温室効果ガス排出状況

春日井市の温室効果ガス排出量の推移

(単位：千 t-CO₂)

部門・分野	年度	基準年度 2013	2016	2017	2018	2019	2020	2021	最新年度 2022	増減率 (基準年度比)	増減率 (前年度比)
二酸化炭素	産業部門	774.1	762.4	663.6	720.5	694.3	584.9	573.2	591.0	-23.7%	3.1%
	業務その他部門	408.3	322.4	321.2	325.1	304.7	276.1	334.0	306.2	-25.0%	-8.3%
	家庭部門	363.9	318.5	329.9	306.9	295.5	298.5	309.3	293.0	-19.5%	-5.3%
	運輸部門	460.4	447.1	442.5	437.5	428.0	390.7	388.6	集計中	集計中	集計中
	廃棄物分野	13.6	16.8	27.6	16.3	19.9	31.5	25.6	36.3	167.5%	42.0%
二酸化炭素 小計		2,020.3	1,867.2	1,784.8	1,806.3	1,742.3	1,581.8	1,630.8	集計中	集計中	集計中
その他 ガス	メタン	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.8	3.2	7.4%	13.1%
	一酸化二窒素	6.7	6.6	6.6	6.6	6.6	6.3	6.1	6.8	1.8%	11.6%
温室効果ガス 合計		2,030.0	1,876.7	1,794.2	1,815.8	1,751.8	1,591.0	1,639.7	集計中	集計中	集計中

※：四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

※：各種統計データ、算定方法の見直し等により、再計算しています。

※：推計に使用する都道府県別エネルギー消費統計の最新の公表値が 2022 年度のため、最新年度が 2022 年度となっています。

削減目標 温室効果ガス総排出量（2013 年度比）

(千t-CO₂)



2022 年度
集計中

温室効果ガス排出量の推移と削減目標の関係

温室効果ガス排出量増減の主な要因

温室効果ガス排出量の算定後に記載します。

○資料 1 (p26)

削減目標 部門別二酸化炭素排出量（2013 年度比）

(単位：千 t-CO₂)

部門	基準値 (2013 年度)	前年度値 (2021 年度)	最新値 (2022 年度)	目標値 (2030 年度)	進捗 状況	(参考) 最新値 前年度比
産業部門 【2013 年度比】	774.1 【－】	573.2 【－26.0%】	591.0 【－23.7%】	479.9 【－38%】		3.1%
業務その他部門 【2013 年度比】	408.3 【－】	334.0 【－18.2%】	306.2 【－25.0%】	200.1 【－51%】		-8.3%
家庭部門 【2013 年度比】	363.9 【－】	309.3 【－15.0%】	293.0 【－19.5%】	123.7 【－66%】		-5.3%
運輸部門 【2013 年度比】	460.4 【－】	388.6 【－15.6%】	集計中 【集計中】	299.3 【－35%】		

部門別二酸化炭素排出量増減の主な要因

部門	主な要因（基準年度比）	主な要因（前年度比）
産業部門	基準年度比 23.7%減少。電力の排出係数が改善したことや省エネ設備等の普及によるエネルギー消費量が減少したため。	前年度比 3.1%増加。パルプ・紙・紙加工品製造業等において、製造品出荷額の増加により、エネルギー消費量が増加したため。
業務その他部門	基準年度比 25.0%減少。電力の排出係数が改善したことや節電や省エネ等によるエネルギー消費量が減少したため。	前年度比 8.3%減少。医療・福祉等において、都市ガスや電力等の消費量が減少したため。
家庭部門	基準年度比 19.5%減少。電力の排出係数が改善したことや節電や省エネ等によるエネルギー消費量が減少したため。	前年度比 5.3%減少。暖冬により暖房等の需要が減少し、エネルギー消費量が減少したため。
運輸部門	運輸部門二酸化炭素排出量の算定後に記載します。	

○資料 1 (p27)

成果指標の進捗状況

成果指標	前年度値	最新値	目標値	進捗状況 ^{※3}
市役所エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (公用車除く) ^{※1}	20,743t-CO ₂ (2022 年度)	22,255 t-CO ₂ (2023 年度)	15,863t-CO ₂ (2030 年度)	

※電気の排出係数は調整後の値を使用。また、市が J-クレジット制度を活用しカーボンオフセットを実施した量を含む。